

3. 総合型選抜

(1) 自己推薦選抜[資格]A・B日程(専願制)

○出願資格

一般選抜試験の出願資格(高等学校等卒業程度認定試験合格者等を含む)に準じ、出願資格A、出願資格Bの両方を満たす者。1校あたりの人数制限はない。

【出願資格A】

本学が指定する資格を有する者。資格取得点については、(別表)の区分参照(上限40点)

※英語専攻については、下記の(別表)区分I記載の資格いずれかのうち、資格取得点20点以上が出願資格の対象となる。

【出願資格B】

全教科の中からいずれか一つの学習成績の状況が3.3以上ある者、または、全体の学習成績の状況が3.0以上ある者(高等学校等卒業程度認定試験合格者等)は、調査書の全体の学習成績の状況を3.6として換算。

○主体性等評価※2

主体性等・資格	配点	小計
探究活動・学習※4	5	最大 15
課外活動	4	
生徒会活動	4	
ボランティア	4	
英語関連試験	2	
職業学科資格	2	
国際バカロレア	2	

○選抜方法

面接、書類審査(調査書(全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、自己推薦書)、小論文※3

※3以下の条件を満たす者は、小論文を免除する。

○免除資格取得点※3

資格等	基準	配点(いずれか1つ)
英語関連試験	英検準2級、GTEC690以上	25
全商検定試験(全国商業高等学校協会)	1級3種目以上	25
ジュニアマイスター(全国工業高等学校長協会)	シルバー以上	25
アグリマイスター(全国農業高等学校長協会)	シルバー以上	25

○小論文評価※3

ランク	点数
A	25
B	20
C	15
D	10
E	5

○選考基準配点

全体の学習成績の状況※1	書類審査		小論文※3/ 免除資格取得点	面接	合計
	主体性等評価※2	資格取得点 (上限40点)			
20	15	40	25	50	150

※1:全体の学習成績の状況×4

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。

詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

(別表)

区分	資格	資格取得点				
		40点	30点	20点	15点	10点
I 英語関係 ※1	ケンブリッジ英語検定	CEFR B2以上	CEFR B1	CEFR A2	CEFR A1	
	英検 CBT/英検2020					
	1day S-CBT					
	GTEC					
	Advanced/Basic/Core/CBT					
	IELTS					
	TEAP					
	TEAP CBT					
	TOEFL iBT					
	実用英語技能検定 (日本英語検定協会)	準1級以上	2級	準2級	3級	
技術英語能力検定 (日本工業英語協会)	プロフェッショナル	準プロフェッショナル		3級		
英語検定 (全国商業高等学校協会)		1級		2級	3級	
※1:英語専攻の自己推薦選抜[資格]を受験する場合は、上記の資格いずれかのうち、資格取得点20点以上が出願資格の対象となります。(CEFRについては文部科学省ホームページでご確認ください。) その他英語および英語以外の外国語に関する類似する資格については、資格取得点の範囲内で同等に評価します。						
II 簿記関係	簿記検定 (日本商工会議所)	1級	2級		3級	
	簿記能力検定 (全国経理教育協会)	上級	1級	1級科目合格	2級	3級
	簿記実務検定 (全国商業高等学校)		1級	1級科目合格	2級	3級
簿記関連のみ、資格取得点の高い資格のみを採用します。						
III 情報関係	基本情報技術者 (経済産業省)	取得者				
	ITパスポート (経済産業省)		取得者			
	情報処理検定 (全国商業高等学校協会)※2		1級		2級	3級
	情報技術検定 (全国工業高等学校協会)		1級		2級	3級
	日本情報処理検定 日本語ワープロ (日本情報処理検定協会)			準1級以上	2級	3級
	日本情報処理検定 表計算 (日本情報処理検定協会)			準1級以上	2級	3級
※2:情報処理検定の1級は、「ビジネス情報部門」と「プログラミング部門」両方が対象です。その他情報に関する類似する資格については、資格取得点の範囲内で同等に評価します。						
	日本漢字能力検定 (日本漢字能力検定協会)	準1級以上	2級	準2級	3級	

IV そ の 他	文章読解・作成能力検定 (日本漢字能力検定協 会)		2級	準2級	3級	
	販売士検定 (日本商工会議所)	1級	2級		3級	
	ビジネス文書実務検定ま たはワープロ実務検定 (全国商業高等学校協 会)		1級		2級	3級
	珠算実務検定または電卓 実務検定 (全国商業高等学校協 会)		1級		2級	3級
	商業経済検定 (全国商業高等学校協 会)		1級	1級科目合格	2級	3級
	計算技術検定 (全国商業高等学校協 会)		1級		2級	3級
	危険物取扱者 (総務省)			※3	※4	
※3：乙種第1類から第6類までの全資格を取得していること。 ※4：乙種第1類から第6類までのうち3つ以上の類についての資格を取得していること。 異種の資格としては、すべて加点します。その他の検定で類似する資格についても同等に評価します。 その他の職業高校の資格については、商業高校の資格点と同等に加算します（技能審査標準例参照）。						

◎取得資格については、その種類と等級に応じて、換算表を基準に点数化します。複数の資格を取得している場合は、それぞれの点数を加算します。

ただし、「区分Ⅱ簿記関連」の資格については最も高い資格取得点のみを採用します。

◎「区分Ⅰ～Ⅳ」については、出願時に資格を証明する合格証明書または合格証の写しの提出が必要です。

なお、出願期間中に合格証等の写しの提出が間に合わない場合は入学センターまでお問い合わせください。

◎上記の表に掲載されていない類似する資格については、資格取得点の範囲内で同等に評価します。また類似する資格について不明な場合は、入学センターまでお問い合わせください。

## (2) 自己推薦選抜[活動]A・B日程〈専願制〉 学群・学科別7専攻、短大のみ

### ○出願資格

一般選抜試験の出願資格（高等学校等卒業程度認定試験合格者等を含む）に準じ、自己推薦できる者で、出願資格A、出願資格Bの両方を満たす者。1校あたりの人数制限はない。

### 【出願資格A】

次のいずれかに該当する者。

- ・文化系・体育系の課外活動歴2年以上で、優れた成果を残した者、またはリーダーシップを発揮した者。
- ・生徒会活動において活動歴が1年以上で、優れた成果を残した者、またはリーダーシップを発揮した者。
- ・高等学校または中等教育学校後期課程あるいは地域の商工団体・NPO法人などの下で地域貢献に関わる活動をし、優れた成果を残した者、またはリーダーシップを発揮した者。（活動歴が1年以上の者を対象とする）

### 【出願資格B】

全教科の中からいずれか一つの学習成績の状況が3.3以上ある者、または、全体の学習成績の状況が3.0以上ある者（高等学校等卒業程度認定試験合格者等は、調査書の全体の学習成績の状況を3.6として換算）。

### ○主体性等評価※2

主体性等・資格	配点	小計
探究活動・学習※4	5	最大 10
課外活動	4	
生徒会活動	4	
ボランティア	4	
英語関連試験	2	
職業学科資格	2	
国際バカロレア	2	

### ○選抜方法

面接、書類審査（調査書（全体の学習成績の状況＋主体性等評価※2）、探究活動・学習、自己推薦書、活動調査書）、小論文※3

※3以下の条件を満たす者は、小論文を免除する。

### ○免除資格取得点※3

資格等	基準	配点（いずれか1つ）
英語関連試験	英検準2級、GTEC690以上	25
全商検定試験（全国商業高等学校協会）	1級3種目以上	25
ジュニアマイスター（全国工業高等学校長協会）	シルバー以上	25
アグリマイスター（全国農業高等学校長協会）	シルバー以上	25

### ○小論文評価※3

ランク	点数
A	25
B	20
C	15
D	10
E	5

### ○選考基準配点

書類審査			小論文※3/ 免除資格取得点	面接	合計
全体の学習成績の状況※1	主体性等評価※2	活動成果点※5 (上限40点)			
20	15	40	25	50	150

※1：全体の学習成績の状況×4

### ○活動成果点※5

活動の成果	40点	30点	20点	15点	10点
文化系体育系の課外活動歴2年以上	全国大会出場	都道府県大会出場	主将・部長	副主将・副部長	2年継続
特別活動において顕著な実績がある		生徒会長	生徒会役員	H・R長	HR役員
地域貢献に関わる公的な活動がある※6		会長・団長	会・団の役員	会員・団員	奉仕活動歴

※6 商工会議所、NPO法人、ボーイスカウト、国際ソロプチミスト、部活単位の奉仕活動等での活動を指します。

◎活動成果は別刷「2021年度入学選抜要項」に添付の「活動調査書・紹介状」（本学所定用紙）の提出が必要です。

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」（探究活動）または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。

詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

(3) 自己推薦選抜[資格]C日程 (専願制)

○出願資格

一般選抜試験の出願資格 (高等学校等卒業程度認定試験合格者等を含む) に準じ、出願資格A、出願資格Bの両方を満たす者。1校あたりの人数制限はない。

【出願資格A】

本学が指定する資格を有する者。資格取得点については、(別表)の区分参照 (上限40点)

※英語専攻については、下記の(別表)区分1記載の資格いずれかのうち、資格取得点20点以上が出願資格の対象となる。

【出願資格B】

全教科の中からいずれか一つの学習成績の状況が3.3以上ある者、または、全体の学習成績の状況が3.0以上ある者 (高等学校等卒業程度認定試験合格者等は、調査書の全体の学習成績の状況を3.6として換算)。

○選抜方法

面接、書類審査 (調査書 (全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、自己推薦書)、教科・科目試験 (一般選抜「国語」または大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」のいずれか一つ) ※3

※3 以下の条件を満たす者は、教科・科目試験を免除する。

○免除資格取得点※3

資格等	基準	配点 (いずれか1つ)
英語関連試験	英検準2級、GTEC690以上	25
全商検定試験 (全国商業高等学校協会)	1級3種目以上	25
デュオマイスター (全国工業高等学校長協会)	シルバー以上	25
アグリマイスター (全国農業高等学校長協会)	シルバー以上	25

○選考基準配点

書類審査		教科・科目試験※3 /免除資格取得点	面接	合計
全体の学習成績の状況※1	主体性等評価※2 (上限40点)			
20	15	25	50	150

※1: 全体の学習成績の状況×4

※3: 教科・科目試験については、一般選抜「国語」または大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」を25点満点に換算する。

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

○主体性等評価※2

主体性等・資格	配点	小計
探究活動・学習※4	5	最大 10
課外活動	4	
生徒会活動	4	
ボランティア	4	
英語関連試験	2	
職業学科資格	2	
国際バカロレア	2	

(別表)

区分	資格	資格取得点				
		40点	30点	20点	15点	10点
I 英語 関係 ※1	ケンブリッジ英語検定 英検 CBT/英検2020 1day S-CBT GTEC Advanced/Basic/Core/ CBT	CEFR B2以上	CEFR B1	CEFR A2	CEFR A1	
	IELTS					
	TEAP					
	TEAP CBT					
	TOEFL iBT					
	実用英語技能検定 (日本英語検定協会)					準1級以上
	技術英語能力検定 (日本工業英語協会)	プロフェッショナル	準プロフェッショナル		3級	
	英語検定 (全国商業高等学校協会)		1級		2級	3級
	※1: 英語専攻の自己推薦選抜[資格]を受験する場合は、上記の資格いずれかのうち、資格取得点20点以上が出願資格の対象となります。(CEFRについては文部科学省ホームページでご確認ください。) その他英語および英語以外の外国語に関する類似する資格については、資格取得点の範囲内で同等に評価します。					
	II 簿記 関係	簿記検定 (日本商工会議所)	1級	2級		3級
簿記能力検定 (全国経理教育協会)		上級	1級	1級科目合格	2級	3級
簿記実務検定 (全国商業高等学校)			1級	1級科目合格	2級	3級
簿記関連のみ、資格取得点の高い資格のみを採用します。						
III 情報 関係	基本情報技術者 (経済産業省)	取得者				
	ITパスポート (経済産業省)		取得者			
	情報処理検定 (全国商業高等学校協会) ※2		1級		2級	3級
	情報技術検定 (全国工業高等学校協会)		1級		2級	3級
	日本情報処理検定 日本語ワープロ (日本情報処理検定協会)			準1級以上	2級	3級
	日本情報処理検定 表計算 (日本情報処理検定協会)			準1級以上	2級	3級
※2: 情報処理検定の1級は、「ビジネス情報部門」と「プログラミング部門」両方が対象です。その他情報に関する類似する資格については、資格取得点の範囲内で同等に評価します。						
	日本漢字能力検定 (日本漢字能力検定協会)	準1級以上	2級	準2級	3級	

IV そ の 他	文章読解・作成能力検定 (日本漢字能力検定協 会)		2級	準2級	3級	
	販売士検定 (日本商工会議所)	1級	2級		3級	
	ビジネス文書実務検定ま たはワープロ実務検定 (全国商業高等学校協 会)		1級		2級	3級
	珠算実務検定または電卓 実務検定 (全国商業高等学校協 会)		1級		2級	3級
	商業経済検定 (全国商業高等学校協 会)		1級	1級科目合格	2級	3級
	計算技術検定 (全国商業高等学校協 会)		1級		2級	3級
	危険物取扱者 (総務省)			※3	※4	
※3：乙種第1類から第6類までの全資格を取得していること。 ※4：乙種第1類から第6類までのうち3つ以上の類についての資格を取得していること。 異種の資格としては、すべて加点します。その他の検定で類似する資格についても同等に評価します。 その他の職業高校の資格については、商業高校の資格点と同等に加算します(技能審査標準例参照)。						

◎取得資格については、その種類と等級に応じて、換算表を基準に点数化します。複数の資格を取得している場合は、それぞれの点数を加算します。

ただし、「区分Ⅱ簿記関連」の資格については最も高い資格取得点のみを採用します。

◎「区分Ⅰ～Ⅳ」については、出願時に資格を証明する合格証明書または合格証の写しの提出が必要です。

なお、出願期間中に合格証等の写しの提出が間に合わない場合は入学センターまでお問い合わせください。

◎上記の表に掲載されていない類似する資格については、資格取得点の範囲内で同等に評価します。また類似する資格について不明な場合は、入学センターまでお問い合わせください。

#### (4) 自己推薦選抜[活動]C日程(専願制) 学群・バ7-7-7専攻、短大のみ

##### ○出願資格

一般選抜試験の出願資格(高等学校卒業程度認定試験合格者等を含む)に準じ、自己推薦できる者で、出願資格A、出願資格Bの両方を満たす者。1校あたりの人数制限はない。

##### 【出願資格A】

次のいずれかに該当する者。

・文化系・体育系の課外活動歴2年以上で、優れた成果を残した者、またはリーダーシップを発揮した者。

・生徒会活動において活動歴が1年以上で、優れた成果を残した者、またはリーダーシップを発揮した者。

・高等学校または中等教育学校後期課程あるいは地域の商工団体・NPO法人などの下で地域貢献に関わる活動をし、優れた成果を残した者、またはリーダーシップを発揮した者。(活動歴が1年以上の者を対象とする)

##### 【出願資格B】

全教科の中からいずれか一つの学習成績の状況が3.3以上ある者、または、全体の学習成績の状況が3.0以上ある者(高等学校卒業程度認定試験合格者等は、調査書の全体の学習成績の状況を3.6として換算)。

##### ○主体性等評価※2

主体性等・資格	配点	小計
探究活動・学習※4	5	最大 10
課外活動	4	
生徒会活動	4	
ボランティア	4	
英語関連試験	2	
職業学科資格	2	
国際バカロレア	2	

##### ○選抜方法

面接、書類審査(調査書(全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、自己推薦書、活動調査書)、教科・科目試験(一般選抜「国語」または大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」のいずれか一つ)※3

※3 以下の条件を満たす者は、教科・科目試験を免除する。

##### ○免除資格取得点※3

資格等	基準	配点(いずれか1つ)
英語関連試験	英検準2級、GTEC690以上	25
全商検定試験(全国商業高等学校協会)	1級3種目以上	25
ジュニアライター(全国工業高等学校長協会)	シルバー以上	25
アグリライター(全国農業高等学校長協会)	シルバー以上	25

##### ○選考基準配点

書類審査			教科・科目試験※3 /免除資格取得点	面接	合計
全体の学習成績の状況※1	主体性等評価※2	活動成果点※5 (上限40点)			
20	15	40	25	50	150

※1：全体の学習成績の状況×4

※3：教科・科目試験については、一般選抜「国語」または大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」を25点満点に換算する。

##### ○活動成果点※5

活動の成果	40点	30点	20点	15点	10点
文化系体育系の課外活動歴2年以上	全国大会出場	都道府県大会出場	主将・部長	副主将・副部長	2年継続
特別活動において顕著な実績がある		生徒会長	生徒会役員	H・R長	HR役員
地域貢献に関わる公的な活動がある※6		会長・団長	会・団の役員	会員・団員	奉仕活動歴

※6 商工会議所、NPO法人、ボーイスカウト、国際ソロプチミスト、部活単位の奉仕活動等での活動を指します。

◎活動成果は別刷「2021年度入学選抜要項」に添付の「活動調査書・紹介状」(本学所定用紙)の提出が必要です。

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。

詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

(5) 自己推薦選抜[資格]D日程(専願制)

○出願資格

一般選抜試験の出願資格(高等学校等卒業程度認定試験合格者等を含む)に準じ、出願資格A、出願資格Bの両方を満たす者。1校あたりの人数制限はない。

【出願資格A】

本学が指定する資格を有する者。資格取得点については、(別表)の区分参照(上限40点)

※英語専攻については、下記の(別表)区分1記載の資格いずれかのうち、資格取得点20点以上が出願資格の対象となる。

【出願資格B】

全教科の中からいずれか一つの学習成績の状況が3.3以上ある者、または、全体の学習成績の状況が3.0以上ある者(高等学校等卒業程度認定試験合格者等は、調査書の全体の学習成績の状況を3.6として換算)。

○選抜方法

面接、書類審査(調査書(全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、自己推薦書)、小論文※3-1または教科・科目試験(大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」)※3-2のいずれか一つ。

※3 以下の条件を満たす者は、小論文または教科・科目試験を免除する。

○免除資格取得点※3

資格等	基準	配点(いずれか1つ)
英語関連試験	英検準2級、GTEC690以上	25
全商検定試験(全国商業高等学校協会)	1級3種目以上	25
ジュニアマイスター(全国工業高等学校長協会)	シルバー以上	25
アグリアスター(全国農業高等学校長協会)	シルバー以上	25

○選考基準配点

書類審査		小論文※3-1または教科・科目試験※3-2 / 免除資格取得点	面接	合計
全体の学習成績の状況※1	主体性等評価※2			
20	15	25	50	150

※1: 全体の学習成績の状況×4

※3-2: 教科・科目試験については、大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」を25点満点に換算する。

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。

詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

(別表)

区分	資格	資格取得点				
		40点	30点	20点	15点	10点
I 英語 関係 ※1	ケンブリッジ英語検定	CEFR B2以上	CEFR B1	CEFR A2	CEFR A1	
	英検 CBT/英検2020 1day S-CBT					
	GTEC Advanced/Basic/Core/CBT					
	IELTS					
	TEAP					
	TEAP CBT					
	TOEFL iBT					
	実用英語技能検定(日本英語検定協会)	準1級以上	2級	準2級	3級	
	技術英語能力検定(日本工業英語協会)	プロフェッショナル	準プロフェッショナル		3級	
	英語検定(全国商業高等学校協会)		1級		2級	3級
※1: 英語専攻の自己推薦選抜[資格]を受験する場合は、上記の資格いずれかのうち、資格取得点20点以上が出願資格の対象となります。(CEFRについては文部科学省ホームページでご確認ください。) その他英語および英語以外の外国語に関する類似する資格については、資格取得点の範囲内で同等に評価します。						
II 簿記 関係	簿記検定(日本商工会議所)	1級	2級		3級	
	簿記能力検定(全国経理教育協会)	上級	1級	1級科目合格	2級	3級
	簿記実務検定(全国商業高等学校)		1級	1級科目合格	2級	3級
	簿記関連のみ、資格取得点の高い資格のみを採用します。					
III 情報 関係	基本情報技術者(経済産業省)	取得者				
	ITパスポート(経済産業省)		取得者			
	情報処理検定(全国商業高等学校協会)※2		1級		2級	3級
	情報技術検定(全国工業高等学校協会)		1級		2級	3級
	日本情報処理検定 日本語ワープロ(日本情報処理検定協会)			準1級以上	2級	3級
	日本情報処理検定 表計算(日本情報処理検定協会)			準1級以上	2級	3級
※2: 情報処理検定の1級は、「ビジネス情報部門」と「プログラミング部門」両方が対象です。 その他情報に関する類似する資格については、資格取得点の範囲内で同等に評価します。						
	日本漢字能力検定(日本漢字能力検定協会)	準1級以上	2級	準2級	3級	

○主体性等評価※2

主体性等・資格	配点	小計
探究活動・学習※4	5	最大 10
課外活動	4	
生徒会活動	4	
ボランティア	4	
英語関連試験	2	
職業学科資格	2	
国際バカロレア	2	

○小論文評価※3-1

ランク	点数
A	25
B	20
C	15
D	10
E	5

IV そ の 他	文章読解・作成能力検定 (日本漢字能力検定協会)	2級	準2級	3級	
	販売士検定 (日本商工会議所)	1級	2級	3級	
	ビジネス文書実務検定またはワープロ実務検定 (全国商業高等学校協会)	1級		2級	3級
	珠算実務検定または電卓実務検定 (全国商業高等学校協会)	1級		2級	3級
	商業経済検定 (全国商業高等学校協会)	1級	1級科目合格	2級	3級
	計算技術検定 (全国商業高等学校協会)	1級		2級	3級
	危険物取扱者 (総務省)			※3	※4
※3：乙種第1類から第6類までの全資格を取得していること。 ※4：乙種第1類から第6類までのうち3つ以上の類についての資格を取得していること。 異種の資格としては、すべて加点します。その他の検定で類似する資格についても同等に評価します。 その他の職業高校の資格については、商業高校の資格点と同等に加算します(技能審査標準例参照)。					

- ◎取得資格については、その種類と等級に応じて、換算表を基準に点数化します。複数の資格を取得している場合は、それぞれの点数を加算します。  
 ただし、「区分Ⅱ簿記関連」の資格については最も高い資格取得点のみを採用します。  
 ◎「区分Ⅰ～Ⅳ」については、出願時に資格を証明する合格証明書または合格証の写しの提出が必要です。  
 なお、出願期間中に合格証等の写しの提出が間に合わない場合は入学センターまでお問い合わせください。  
 ◎上記の表に掲載されていない類似する資格については、資格取得点の範囲内で同等に評価します。また類似する資格について不明な場合は、入学センターまでお問い合わせください。

(6) 自己推薦選抜[活動]D日程(専願制) 学群・バ 7/7-7専攻、短大のみ

○出願資格  
 一般選抜試験の出願資格(高等学校等卒業程度認定試験合格者等を含む)に準じ、出願資格A、出願資格Bの両方を満たす者。1校あたりの人数制限はない。

- 【出願資格A】  
 次のいずれかに該当する者。  
 ・文化系・体育系の課外活動歴2年以上で、優れた成果を残した者、またはリーダーシップを発揮した者。  
 ・生徒会活動において活動歴が1年以上で、優れた成果を残した者、またはリーダーシップを発揮した者。  
 ・高等学校または中等教育学校後期課程あるいは地域の商工団体・NPO法人などの下で地域貢献に関わる活動をし、優れた成果を残した者、またはリーダーシップを発揮した者。(活動歴が1年以上の者を対象とする)

【出願資格B】  
 全教科の中からいずれか一つの学習成績の状況が3.3以上ある者、または、全体の学習成績の状況が3.0以上ある者(高等学校等卒業程度認定試験合格者等は、調査書の全体の学習成績の状況を3.6として換算)。

○主体性等評価※2

主体性等・資格	配点	小計
探究活動・学習※4	5	最大 10
課外活動	4	
生徒会活動	4	
ボランティア	4	
英語関連試験	2	
職業学科資格	2	
国際バカロレア	2	

○選抜方法  
 面接、書類審査(調査書(全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、自己推薦書、活動調査書)、小論文※3-1または教科・科目試験(大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」)※3-2のいずれか一つ。  
 ※3 以下の条件を満たす者は、小論文または教科・科目試験を免除する。

○免除資格取得点※3

資格等	基準	配点(いずれか1つ)
英語関連試験	英検準2級、GTEC690以上	25
全商検定試験(全国商業高等学校協会)	1級3種目以上	25
フェアテスター(全国工業高等学校長協会)	2級以上	25
アグテスター(全国農業高等学校長協会)	2級以上	25

○小論文評価※3-1

ランク	点数
A	25
B	20
C	15
D	10
E	5

○選考基準配点

書類審査			小論文※3-1または 教科・科目試験※3-2/ 免除資格取得点	面接	合計
全体の学習成績の状況※1	主体性等評価※2	活動成果点※5 (上限40点)			
20	15	40	25	50	150

- ※1：全体の学習成績の状況×4  
 ※3-2：教科・科目試験については、大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」を25点満点に換算する。

○活動成果点※5

活動の成果	40点	30点	20点	15点	10点
文化系体育系の課外活動歴2年以上	全国大会出場	都道府県大会出場	主将・部長	副主将・副部長	2年継続
特別活動において顕著な実績がある		生徒会長	生徒会役員	H・R長	HR役員
地域貢献に関わる公的な活動がある※6		会長・団長	会・団の役員	会員・団員	奉仕活動歴

- ※6 商工会議所、NPO法人、ボーイスカウト、国際ソロプチミスト、部活単位の奉仕活動等での活動を指します。  
 ◎活動成果は別刷「2021年度入学選抜要項」に添付の「活動調査書・紹介状」(本学所定用紙)の提出が必要です。

- ※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。  
 詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

(7) 自己推薦選抜[専門学科(職業)・奨学生]A・B・C日程(専願制)

○出願資格

高等学校もしくは中等教育学校の原則として職業を主とする専門学科(総合学科を含む)を卒業(卒業見込みを含む)した者で、出願資格A・出願資格B・出願資格Cのすべてを満たし、自己推薦できる者。1校あたりの制限はない。

【出願資格A】

別表1にあげる資格等を有する者。

【出願資格B】

全教科の中からいずれか一つの学習成績の状況が3.3以上ある者、または全体の学習成績の状況が3.0以上ある者。

【出願資格C】

経済的支援の検討対象となる者。

※以下参考(2021年3月現在)

- ・主たる家計支持者の収入金額が一定の基準以下(給与所得者841万円以下、給与所得者以外355万円以下)
- ・日本学生支援機構奨学金等各種奨学金利用(予定)
- ・日本政策金融公庫教育ローン等各種教育ローン利用(予定)
- ・行政機関の貸付制度(母子父子寡婦福祉貸付金等)利用(予定)
- ・1人暮らし(予定)
- ・兄弟姉妹が大学在学(本人在学時)
- ・その他、本学が経済的支援の検討が必要と認める場合

○選抜方法

面接、書類審査(調査書(全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、自己推薦書)

○選考基準配点

書類審査			面接	合計
全体の学習成績の状況※1	主体性等評価※2	資格点※3		
20	15	50	50	100

※1: 全体の学習成績の状況×4

※3: 別表1参照

別表1(「対象となる職業学科等資格一覧」)

資格等	50点	35点	25点	15点
全商検定試験(全国商業高等学校協会)	1級9種目以上	1級7種目以上	1級5種目以上	1級3種目以上
ジュニアマスター(全国工業高等学校長協会)		特別表彰	ゴールド	シルバー
アグリマスター(全国農業高等学校長協会)		ブロンズ	ゴールド	シルバー

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。

詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

◎対象となる資格は、出願時において、資格を証明する合格証明書または合格証の写しの提出が必要です。

◎対象となる資格は、原則、高等学校在学中に取得することを要件とします。

◎本選抜で合格・手続きした者が、新たに対象となる資格を取得し、上位の資格取得対象となった場合は、以下のとおりとします。(事前連絡が必要)

①提出書類(新たに対象となる資格を証明する合格証明書または合格証の写し)と、合格時の面接点・調査点を利用し、あらかじめ経済支援の選考を実施します。(新たな受験は不要)

②あらかじめ本選抜を受験する際の検定料は免除となります。(再受験も可能)

◎高等学校もしくは中等教育学校の原則として職業学科(総合学科を含む)の学校推薦型選抜指定校制、学校推薦型選抜公募制、自己推薦型選抜[資格][活動]で合格・手続きした者が、新たに対象となる資格を取得し、本選抜を受験する際の検定料は、免除となります。(事前連絡が必要)

○経済的支援選考方法

合格者の中から経済支援対象者を下記方法で選考し、別表2のとおりとします。

調査書・資格取得点※5	個人面接※6	合計
70点	30点	100点

※5 調査書は、全体の学習成績の状況×4。資格取得点は別表1(「対象となる職業学科等資格一覧」)を参照。

※6 面接点50点満点を30点に換算します。

(別表2) 経済的支援選考方法

対象者	支援措置
合格者で経済的支援選考総合点85点以上	在学中の授業料全額相当額
合格者で経済的支援選考総合点65点以上	在学中の授業料半額相当額
合格者で経済的支援選考総合点50点以上	1年次春学期の授業料から入学金相当額

※入学後、学期毎に学業審査があります。

※入学後、毎年、主たる家計支持者の収入確認があります。

○主体性等評価※2

主体性等・資格	配点	小計
探究活動・学習※4	5	5
課外活動	4	最大 10
生徒会活動	4	
ボランティア	4	
英語関連試験	2	
職業学科資格	2	
国際バカロレア	2	15

(8) 自己推薦選抜(課外活動10月) (専願制)

○出願資格

高等学校もしくは中等教育学校を卒業(卒業見込みを含む)し、全教科の中からいずれか一つの学習成績の状況が3.3以上の者、もしくは全体の学習成績の状況が2.7以上の者で、次の各号に掲げる条件に該当する者。

- ① 本学が定める「指定種目※6」に該当するクラブの「本学顧問」から推薦された者。
② 本学が定める「競技または団体運営基準※7」のいずれかに該当し、入学後当該クラブにおいて課外活動を継続して行う意志を有する者。

○出願方法

出願は、所属する「高等学校もしくは中等教育学校後期課程のクラブ顧問」または「団体指導者」から「札幌大学顧問」を通して行う。

○選抜方法

面接、書類審査(調査書(全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、自己推薦書)、小論文※3

○選考基準点

Table with columns: 書類審査 (最大55点), 小論文※3, 面接, 合計. Rows: 全体の学習成績の状況※1, 主体性等評価※2, 活動評価※5, 25, 15, 30, 25, 50, 130.

※1: 全体の学習成績の状況×5

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

※6 「指定種目」(クラブ)

サッカー部、吹奏楽団、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、野球部、アメリカンフットボール部、空手道部、剣道部、柔道部、スキー部、スケート部(アイスホッケー・フィギュア)、男子バレーボール部、女子バレーボール部、ラグビー部、陸上競技部、男子羽球部、女子羽球部、ゴルフ部、卓球部、ハンドボール部、チアリーディング部、女子サッカー部、X-SPORTS部(スケートボード、スノーボード、サーフィン)、弓道部、SUPO(スポーツ・文化活動優秀者団体)

◎文化活動優秀者団体とは、スポーツ・文化活動において優秀な成績を取った学生が所属する団体のこと。

※7 「競技または団体運営基準」

- (1) 指定種目において、個人競技または団体競技の選手として、都道府県大会(都道府県の高騰学校体育連盟または高等学校文化連盟が主催する大会)またはそれに匹敵する協議会に、予選を勝ち抜いて出場した者。
(2) 指定種目において、個人競技または団体競技の選手として、都道府県大会(都道府県の高騰学校体育連盟または高等学校文化連盟が主催する大会)またはそれに匹敵する協議会に出場し、全出場者・団体内、上位3分の1位内またはベスト8に入賞した者。
(3) その他、課外活動コーディネーター会議によって、(1)(2)に準ずる成績を取る素質があると認められた者。
(4) 指定種目において、団体運営のスタッフとして部長・監督等を補佐し、当該部長・監督等から団体の発展への貢献が認められた者。
(5) 出願時に下記に定める資格を取得済みで、入学後、指定種目の発展に貢献する意欲と資質があると認められた者。
(6) 指定種目の指導者を志し、入学後は学生コーチ、トレーナー、またはレフェリーとして当該種目の競技力向上に貢献する意欲と資質があると認められた者。

◎上記(5)に適用される資格とは、日本体育会公認スポーツ指導者資格各種、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師(はり師・きゅう師)、その他課外活動コーディネーター会議が提案し、学長が認める者。

(9) 自己推薦選抜(課外活動3月) (専願制)

○出願資格

高等学校もしくは中等教育学校を卒業(卒業見込みを含む)し、全教科の中からいずれか一つの学習成績の状況が3.3以上の者、もしくは全体の学習成績の状況が2.7以上の者で、次の各号に掲げる条件に該当する者。

- ① 本学が定める「指定種目※6」に該当するクラブの「本学顧問」から推薦された者。
② 本学が定める「競技または団体運営基準※7」のいずれかに該当し、入学後当該クラブにおいて課外活動を継続して行う意志を有する者。

○出願方法

出願は、所属する「高等学校もしくは中等教育学校後期課程のクラブ顧問」または「団体指導者」から「札幌大学顧問」を通して行う。

○選抜方法

面接、書類審査(調査書(全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、自己推薦書)、教科・科目試験(一般選抜「国語」または大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」のいずれか一つ)※3

○選考基準点

Table with columns: 書類審査 (最大55点), 教科・科目試験※3, 面接, 合計. Rows: 全体の学習成績の状況※1, 主体性等評価※2, 活動評価※5, 25, 15, 30, 25, 50, 130.

※1: 全体の学習成績の状況×5

※3: 教科・科目試験については、一般選抜「国語」及び大学入学共通テスト「最も高得点の教科・科目」を25点満点に換算する。

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

※6 「指定種目」(クラブ)

サッカー部、吹奏楽団、男子バスケットボール部、女子バスケットボール部、野球部、アメリカンフットボール部、空手道部、剣道部、柔道部、スキー部、スケート部(アイスホッケー・フィギュア)、男子バレーボール部、女子バレーボール部、ラグビー部、陸上競技部、男子羽球部、女子羽球部、ゴルフ部、卓球部、ハンドボール部、チアリーディング部、女子サッカー部、X-SPORTS部(スケートボード、スノーボード、サーフィン)、弓道部、SUPO(スポーツ・文化活動優秀者団体)

◎文化活動優秀者団体とは、スポーツ・文化活動において優秀な成績を取った学生が所属する団体のこと。

※7 「競技または団体運営基準」

- (1) 指定種目において、個人競技または団体競技の選手として、都道府県大会(都道府県の高騰学校体育連盟または高等学校文化連盟が主催する大会)またはそれに匹敵する協議会に、予選を勝ち抜いて出場した者。
(2) 指定種目において、個人競技または団体競技の選手として、都道府県大会(都道府県の高騰学校体育連盟または高等学校文化連盟が主催する大会)またはそれに匹敵する協議会に出場し、全出場者・団体内、上位3分の1位内またはベスト8に入賞した者。
(3) その他、課外活動コーディネーター会議によって、(1)(2)に準ずる成績を取る素質があると認められた者。
(4) 指定種目において、団体運営のスタッフとして部長・監督等を補佐し、当該部長・監督等から団体の発展への貢献が認められた者。
(5) 出願時に下記に定める資格を取得済みで、入学後、指定種目の発展に貢献する意欲と資質があると認められた者。
(6) 指定種目の指導者を志し、入学後は学生コーチ、トレーナー、またはレフェリーとして当該種目の競技力向上に貢献する意欲と資質があると認められた者。

◎上記(5)に適用される資格とは、日本体育会公認スポーツ指導者資格各種、柔道整復師、あん摩マッサージ指圧師、鍼灸師(はり師・きゅう師)、その他課外活動コーディネーター会議が提案し、学長が認める者。

○主体性等評価※2

Table with columns: 主体性等・資格, 配点, 小計. Rows: 探究活動・学習※4 (5, 5), 課外活動 (4), 生徒会活動 (4), ボランティア (4, 最大), 英語関連試験 (2, 10), 職業学科資格 (2), 国際バカロレア (2).

○小論文評価※3

Table with columns: ランク, 点数. Rows: A (25), B (20), C (15), D (10), E (5).

○活動評価※5

Table with columns: ランク, 点数. Rows: 全国大会出場 (30), ブロック・都道府県大会出場 (25), トライアウト・団体の発展に寄与できる者 (20).

○主体性等評価※2

Table with columns: 主体性等・資格, 配点, 小計. Rows: 探究活動・学習※4 (5, 5), 課外活動 (4), 生徒会活動 (4), ボランティア (4, 最大), 英語関連試験 (2, 10), 職業学科資格 (2), 国際バカロレア (2).

○活動評価※5

Table with columns: ランク, 点数. Rows: 全国大会出場 (30), ブロック・都道府県大会出場 (25), トライアウト・団体の発展に寄与できる者 (20).



(10) ウレシバ選抜(専願制) 大学のみ

○出願資格

一般選抜試験の出願資格(高等学校等卒業程度認定試験合格者等を含む)に準じ、自己推薦できる者で、かつプログラムが定めるイベント等に参加し、本学教員と面談を経て、期日までに課題等を提出した者。全体の学習成績の状況は問わない。

○選抜方法

面接、書類審査(調査書(全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、提出課題)、小論文※3

※3 以下の条件を満たす者は、小論文を免除する。

○免除資格取得点※3

Table with 3 columns: 資格等, 基準, 配点(いずれか1つ). Rows include 英語関連試験, 全商検定試験, ジュニアマイスター, and アグリマイスター.

○選考基準配点

Table with 4 columns: 書類審査, 小論文※3/免除資格取得点, 面接, 合計. Rows show scores for 30, 15, 25, 50, and 120.

※1: 全体の学習成績の状況×6

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

◎出願までに事前エントリーが必要。

(11) キャリアデザイン選抜(専願制) 短大のみ

○出願資格

一般選抜試験の出願資格(高等学校等卒業程度認定試験合格者等を含む)に準じ、自己推薦できる者で、かつプログラムが定めるイベント等に参加し、本学教員と面談を経て、期日までに課題等を提出した者。全体の学習成績の状況は問わない。(キャリアデザイン学科は女子に限る。)

○選抜方法

面接、書類審査(調査書(全体の学習成績の状況+主体性等評価※2)、探究活動・学習、提出課題)、小論文※3

※3 以下の条件を満たす者は、小論文を免除する。

○免除資格取得点※3

Table with 3 columns: 資格等, 基準, 配点(いずれか1つ). Rows include 英語関連試験, 全商検定試験, ジュニアマイスター, and アグリマイスター.

○選考基準配点

Table with 4 columns: 書類審査, 小論文※3/免除資格取得点, 面接, 合計. Rows show scores for 30, 15, 25, 50, and 120.

※1: 全体の学習成績の状況×6

※4 探究活動・学習の評価については、JAPAN e-Portfolio「学びのデータ」(探究活動)または「探究活動・学習報告書」をもとに実施。詳細は、別添「探究活動・学習 評価ルーブリック表」を参照のこと。

◎出願までに事前エントリーが必要。

(12) 社会人特別選抜

○出願資格

出願資格Aのいずれかに該当する者で、かつ出願資格Bを満たす者。

【出願資格A】

- 1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者。
2. 通常の過程による12年の学校教育を修了した者。
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者またはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。
5. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が定める日以降に修了した者。
6. 文部科学大臣が指定した者。
7. 高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)。
8. その他、本学において個別の入学資格審査により、高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。

【出願資格B】

2021年4月1日現在満21歳に達し、社会経験(正社員、自営業従事者、契約社員、長期アルバイト等の経験、主婦)を2年以上(通算)有する者。

○選抜方法

面接、書類審査(志望理由書)、小論文※3

※3 以下の条件を満たす者は、小論文を免除する。

○主体性等評価※2

Table with 3 columns: 主体性等・資格, 配点, 小計. Rows include 探究活動・学習※4, 課外活動, 生徒会活動, ボランティア, 英語関連試験, 職業学科資格, 国際バカロレア.

○小論文評価※3

Table with 2 columns: ランク, 点数. Rows include A, B, C, D, E.

○主体性等評価※2

Table with 3 columns: 主体性等・資格, 配点, 小計. Rows include 探究活動・学習※4, 課外活動, 生徒会活動, ボランティア, 英語関連試験, 職業学科資格, 国際バカロレア.

○小論文評価※3

Table with 2 columns: ランク, 点数. Rows include A, B, C, D, E.

○免除資格取得点※3

資格等	基準	配点 (いずれか1つ)
英語関連試験	英検準2級、GTEC690以上	50
全商検定試験 (全国商業高等学校協会)	1級3種目以上	50
ジュニアマイスター (全国工業高等学校長協会)	シルバー以上	50
アグリマイスター (全国農業高等学校長協会)	シルバー以上	50

○選考基準配点

小論文※3/ 免除資格取得点	面接	合計
50	50	100

(13) 海外帰国生徒特別選抜 大学のみ

○出願資格

日本国籍を有し、外国で学び、次の1~3のいずれかに該当する者。

1. 外国の高等学校を卒業した者または卒業見込みの者。  
(日本の通常の課程における学校教育を含む12年の課程またはこれに準じ文部科学大臣が別に指定したものを修了もしくは修了見込みであること)  
ただし、卒業者は出願時に、卒業したのち1年6ヵ月未満であること。
2. 国際バカロレア資格またはそれに準ずる資格があると認められる者。
3. 日本の高等学校もしくは中等教育学校(学校教育法第1条による学校)を当該年の3月に卒業見込みの者のうち、
  - ①外国の高等学校に2年以上継続して在学した者。ただし、日本の高等学校の在籍期間は原則として1年6ヵ月未満であること。
  - ②外国の中学校・高等学校を通じて3年以上継続して在学した者。ただし、日本の高等学校の在籍期間は原則として1年6ヵ月未満であること。

○選抜方法

面接、書類審査(志望理由書)、小論文※3

※3 出願資格の2または以下の条件を満たす者は小論文を免除する。

○免除資格取得点※3

資格等	基準	配点 (いずれか1つ)
英語関連試験	英検準2級、GTEC690以上	50
全商検定試験 (全国商業高等学校協会)	1級3種目以上	50
ジュニアマイスター (全国工業高等学校長協会)	シルバー以上	50
アグリマイスター (全国農業高等学校長協会)	シルバー以上	50

○選考基準配点

小論文※3/ 免除資格取得点	面接	合計
50	50	100

○小論文評価※3

ランク	点数
A	50
B	40
C	30
D	20
E	10

○小論文評価※3

ランク	点数
A	50
B	40
C	30
D	20
E	10